

健康な生活と疾病の予防 ～感染症の予防～

男子4名 女子13名
計17名

本単元で育成する資質・能力

【論理的・建設的批判能力】

令和3年11月9日(火)

1 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）の保健体育〔保健分野〕2内容「(1)健康な生活と疾病の予防」「ア(オ)感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できること。」を受けて設定した。

小学校では、健康の大切さや健康によい生活、病気の起こり方や予防などについて学習している。中学校では、第1・2学年時までに健康の保持増進や生活習慣病などを予防するためには、適切な運動、食事、休養及び睡眠が必要であること、生活行動と健康に関する内容として喫煙、飲酒、薬物乱用を取り上げ、これらと健康との関係について学習している。

ここでは、疾病の予防に関する課題を発見し、その解決に向けて思考し判断するとともに、それらを表現することができるようにすることが必要である。さらに、自他の健康に関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復に主体的に取り組む態度を身に付けることが必要である。

(2) 生徒観

感染症に関する意識調査（第3学年17名対象10月実施）では、「感染症とはどのような病気か知っている。」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒が82%、「感染症の予防方法を知っている。」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒が77%であった。これらの質問に対する具体的な疾病や予防方法についても、多くの生徒が例を挙げることができている。近年、新型コロナウイルス感染症の流行により、感染症に対する関心は高く、知識は概ね身に付いている。しかし、不確かな情報や間違った知識をもつ生徒もいるため、正しい知識を身に付けさせる必要がある。また、「新型コロナウイルス感染症による差別が起きていると思いますか。」の質問に対して、全員が「とてもそう思う」「そう思う」に回答しており、新型コロナウイルス感染症の影響により、深刻な問題が起きていることも認識している。

(3) 指導観

指導に当たっては、感染症の予防方法について、正しい知識を理解させることに重点を置くため、2時間構成で扱い、時間をかけて指導していく。さらに新型コロナウイルス感染症の影響が続く中、これに起因する偏見や差別についても触れたい。補助教材として、日本赤十字社が示している「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」を活用し、感染症を予防するための適切な行動について正しく理解させ、感染症をより身近なこととして捉え、感染症と自分がどのように向き合っていけばよいかを深く考えさせたい。

また、本時の学習の中での活動時間を確保させるために、家庭学習で事前に動画を視聴させ、知識を習得させたい。特に、感染症を予防するための適切な行動を考えさせる過程では、シンキングツールやICT機器を活用し、個人の思考を可視化したり、仲間と共有したりすることで、対話的で深い学びにつながるような学習展開にしていきたい。

2 単元の目標

- (1) 健康な生活と感染症の予防について、理解することができるようにする。
- (2) 感染症の予防に関わる事象や情報から課題を発見し、感染症のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができるようにする。
- (3) 感染症の予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①感染症は、病原体が主な要因となって発生すること。また、感染症の多くは発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって予防できることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p> <p>②エイズ及び性感染症の疾病概念や感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。</p>	<p>①感染症の予防における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、感染症を予防するための方法を選択している。</p> <p>②感染症の予防について、感染症等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を考え、選択した理由などを、他者と話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて伝え合っている。</p>	<p>①感染症の予防について、課題の解決に向けての学習に自主的に取り組もうとしている。</p>

4 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

育成したい資質・能力	具体的な生徒の姿
論理的・建設的批判能力 (スキル)	感染症の予防について、適切な行動を選択し、自分の考えを論理的に伝え、他の意見を建設的に評価しようとしている。

5 人権教育との関連

(1) 主題との関連

新型コロナウイルス感染症による偏見や差別について考えることを通して人権感覚の育成につなげる。

(2) 育てたい資質・能力

知識的側面 自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識

技能的側面 互いの意見を尊重しながら、自分の考えとその理由を明確にして相手に伝える技能

6 指導と評価の計画（全4時間）

	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒に対する事前の意識調査により、感染症の身体及び社会への影響について考える。 2 感染症についての話合いで意識したり、興味を持ったりしたことを基に、自分たちの生活を振り返る。 3 感染症の発生要因が病原体であること、感染症の発病には、自然環境、社会環境、主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係していることについて説明を聞く。 4 本時を振り返り、感染症を予防するための具体的な事例について考え、発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、主体の抵抗力を高めることによって感染リスクを軽減できることについて記述する。 	①			観察・ワークシート
2 (本時)	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時の学習を振り返る 2 既習の知識を活用し、自他の生活を振り返って感染症を予防するための適切な行動について選択する。 3 日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう!」を参考に、「病気」「不安」「差別」の関係性をワークシートにまとめる。 4 具体的な事案について考え、新型コロナウイルス感染症に対する適切な行動選択について、グループで意見交流をする。 5 本時の振り返り、感染症を予防する方法及び自他の健康の保持増進についてワークシートにまとめる。 		①		観察・ワークシート
3	<ol style="list-style-type: none"> 1 性感染症に対するイメージを出し合う。 2 性感染症の疾病概念と感染経路、感染のリスクを軽減する効果的な予防方法を身に付ける必要があることについて記述する。 3 感染症と性感染症にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法について、グループで話し合い、選択した方法の理由などを、記述したり、筋道を立てて友達に伝えたりする。 4 本時を振り返り、性感染症の疾病概念及び感染のリスクを軽減させる効果的な予防方法についてワークシートにまとめる。 	②		②	観察・ワークシート ワークシート
4	<ol style="list-style-type: none"> 1 前時までの学習を振り返る。 2 エイズの疾病概念と感染経路、感染を予防する有効な方法についてワークシートにまとめる。 3 エイズの病原体や主な感染経路についての説明を聞き、感染を予防する有効な方法について知る。 4 本単元を振り返り、感染症の予防について疾病の概念や感染のリスクを軽減させる効果的な予防方法の視点から、ワークシートにまとめる。 	②		①	ワークシート 観察・ワークシート

7 本時の展開（2/4時間）

(1) 本時の目標

感染症の予防における事柄や情報などについて、イメージマップを活用して保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、感染症を予防するための方法を選択することができるようにする。また、新型コロナウイルス感染症に対する不安や恐れに起因する嫌悪・偏見・差別について考え、個人生活における健康の保持増進のための適切な行動を選択できるようにする。

(2) 展開

段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導・支援（◆評価規準と方法） ※人権感覚を育むための支援
導入	1 既習事項の確認をする。 2 課題と目標を確認する。	一斉	○前時にグループで作成したイメージマップを活用して、感染症予防対策を確認する。 ○タブレットを使い、資料を提示し、本時のめあてや、活動の進め方、内容について説明し、見通しがもてるようにする。
【学習課題】 感染症を予防するための方法を見付け、適切な行動を選択できるようになる。			
展開	3 日本赤十字社が作成した「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！」を参考に、「病気」「不安」「差別」の関係をワークシートにまとめる。	個人	○感染症の疾病概念だけでなく、感染症が個人や社会に与える他の影響について考えるように促す。 ※正しい知識をもつことが、自分も他者も大切にすることにつながることを捉えさせていく。
	4 感染症を予防するための適切な行動について考える。	個人 ↓ グループ	○前時に作成したイメージマップに加筆する。(色ペン) ○グループの中でタブレットを活用して画面共有を行い、1人ずつ自分の意見を発表する。 ○授業で活用したワークシートや資料等も参考にするように促す。
	5 新型コロナウイルス感染症に関連する具体的な事案に対する、適切な行動選択について考える。	個人 ↓ グループ	○「SNS上で起きている問題」、「医療従事者に関する偏見」等の社会で起きている問題を例に考えるように促す。 ○個人の生活と関連付けながら話し合うように促す。 「もし友だちが発熱してしまった場合、どのような行動をとりますか？」 ○意見を交流する際は、互いの意見を認め合い、傾聴するように促す。 ※意見を交流する際は、互いの意見を認め合い、傾聴するように促す。 (身近に感染者がいる場合があるので、発問の仕方に留意する。) ○感染症を予防するための適切な行動について、個人思考をした後に、グループでタブレットで共同編集を行い、意見交流をする。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆〈思・判・表-①〉</p> <p>感染症の予防における事柄や情報などについて、保健に関わる原則や概念を基に整理したり、個人生活と関連付けたりして、自他の課題を発見するとともに、習得した知識を活用し、感染症を予防するための方法を選択している。</p> <p style="text-align: right;">【観察・ワークシート】</p> </div>			

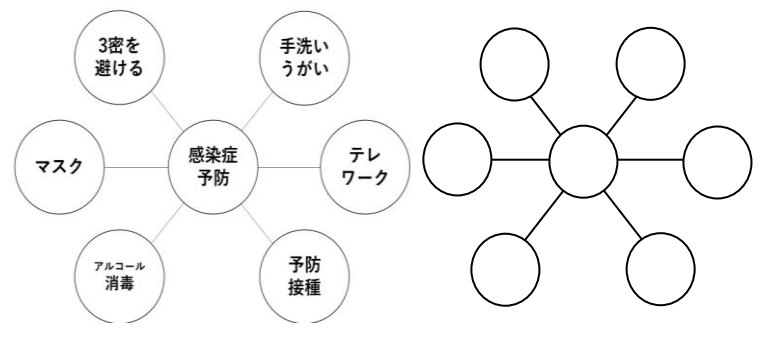
まとめ	6 本時の振り返りをする。	個人	○本時の目標に沿って振り返るように促す。 ○ワークシートに学習を通じて思ったこと、感じたことを素直に書くように促す。
	<p>予想される生徒の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までに考えていた感染症を予防するための行動だけではなく、正確な情報を知ることや差別をしないことなど、他にも気を付けることがあった。 ・実際に身の回りで新型コロナウイルス感染症の疑いのある人が出た場合、差別的言動をしないことや相手の気持ちを考えて冷静に対応することなど、どのような行動をすべきか考えることができた。 ・新型コロナウイルス感染症による偏見や差別について、友だちの考えを知ることができた。 		

8 板書

本時の目標

感染症を予防するための方法を見付け、適切な行動を選択できるようになる。

前時までのイメージマップ



パワーポイント

- ・本時の流れ
- ・既習事項の確認 (資料提示)